
日本郵便2Q、単価アップと経費減で営業益2.2倍に

Edited By LogisticsToday On 2019/11/14

日本郵政が14日に発表した2020年3月期中間決算（4-9月）によると、日本郵便の売上高（営業収益）は1兆8700億1000万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は2.2倍の567億8300万円となった。

郵便・物流事業は、郵便・ゆうパック・ゆうメールの合計取扱数が6200万通（個）増加し、単価見直しも加わったことで売上高は9906億円と前年同期実績を241億円上回った。人件費は18億円少ない6195億円、経費も71億円少ない3427億円に抑え、営業利益は331億円増の283億円と前中間期（47億円の損失）から黒字に転換した。

国際物流事業は売上高が円ベースで283億円減の3182億円、営業損失47億円。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/358102>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.